

# 第44期 中間株主通信

2015年1月1日 ▶ 2015年6月30日



## 商空間の創造を通じて 豊かな社会の実現に貢献します

### ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに、第44期第2四半期累計期間(2015年1月1日から2015年6月30日まで)を終了いたしましたので、その概要をご報告いたします。

当第2四半期におけるわが国経済は、企業収益が総じて改善にあるなか、個人消費にも持ち直しの兆しが見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社の属するディスプレイ業界におきましては、景気回復に伴い商業施設の案件は増加しているものの、原材料価格の上昇や人手不足による人件費の増加が企業収益を圧迫しております。このような事業環境において、当社は継続的なコスト管理に努めるとともに、積極的な採用活動を行い、お客様のニーズにお応えしてきました。

この結果、当第2四半期の売上高は246億20百万円(前年同四半期比2.3%増)、営業利益は16億49百万円(同5.3%減)、経常利益は16億49百万円(同5.0%減)、四半期純利益は10億54百万円(同0.1%増)となりました。

また、2015年度の中間配当につきましては、事業環境および配当政策等を勘案し、1株当たり23円とさせていただきます。

通期の見通しにつきましては、日本経済は、政府の各種経済対策により、引き続き緩やかな景気回復基調が続くものと期待されますが、主要顧客であります小売業界においては、資材価格および人件費の上昇などによる建設コスト高騰の影響により、商業施設の出店や改装計画に見直しがみられ、ディスプレイ業界においても、厳しい状況で推移するものと予想されます。

このような状況の下、当社は、引き続き中期経営計画に掲げた「商業施設業界No.1 と新たな市場の拡大」の達成を目指すとともに、商空間の創造を通じて豊かな社会の実現に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

若林 弘之

## 2015年度の業績予想

(2015年1月1日～2015年12月31日)

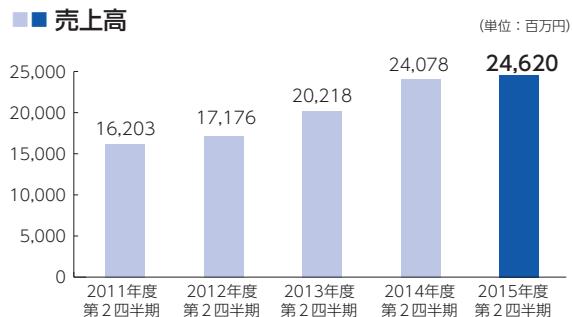
売上高	46,500百万円	前事業 年度比	96.4%
営業利益	3,300百万円	前事業 年度比	101.1%
経常利益	3,300百万円	前事業 年度比	98.1%
当期純利益	1,900百万円	前事業 年度比	108.0%

### 2015年度の配当予想

2015年度の配当金につきましては、内部留保の充実による経営基盤の強化を目指す一方、収益力の一層の向上と財務体質の強化を図り、安定配当を維持することを基本とし、株主の皆様へ利益還元を心掛けることを方針としております。この方針にしたがい、2015年度第2四半期の1株当たり配当金は23円とさせていただきます。なお、2015年度の期末配当金は1株当たり23円とさせていただきます。

年間配当金 **46円**  
(中間23円・期末23円)

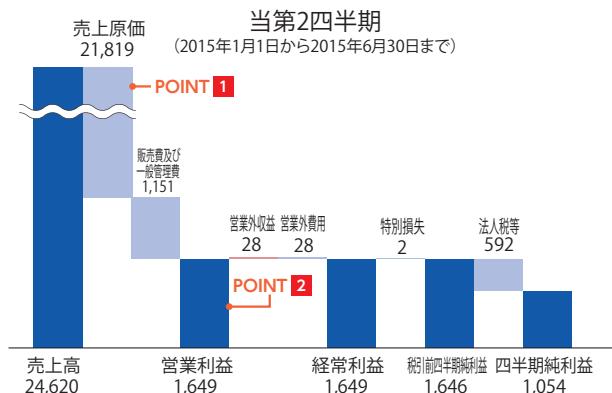
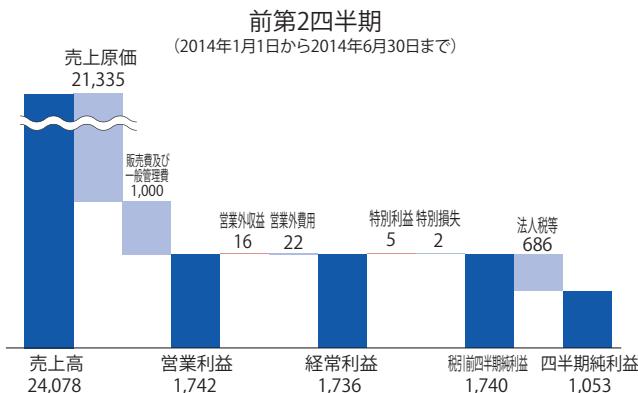
## 業績の推移



# 財務データ

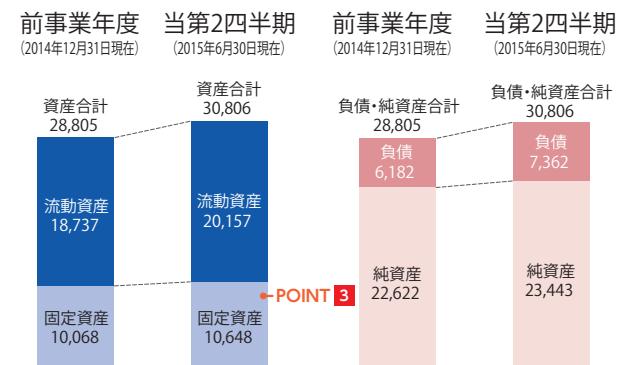
## 損益計算書より

(単位:百万円)



## 貸借対照表より

(単位:百万円)



### POINT 1 売上原価

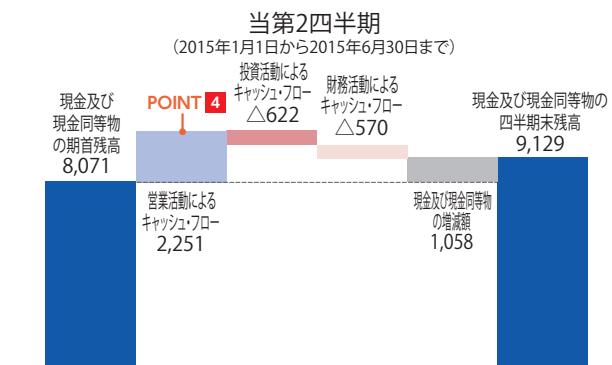
原材料価格の上昇や人手不足による人件費の増加もあり、前年同期と比べ4億83百万円増加の218億19百万円となりました。

### POINT 2 営業利益

積極的な人材採用などによる販売費及び一般管理費の増加により、前年同期と比べ92百万円減少の16億49百万円となりました。

## キャッシュ・フロー計算書より

(単位:百万円)



### POINT 3 固定資産

本社増築に伴い、有形固定資産が3億99百万円増加したことにより、前期末と比べ5億80百万円増加の106億48百万円となりました。

### POINT 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

法人税の支払が6億10百万円、たな卸資産が11億32百万円増加したものの、税引前四半期純利益の計上16億46百万円、仕入債務の増加12億65百万円、売上債権の減少7億82百万円等がキャッシュを押し上げた結果、前年同期と比べ7億5百万円減少の22億51百万円となりました。

## 市場分野変更のお知らせ

当社はディスプレイ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載に代えて市場分野別に記載しておりますが、お客様の業種・業態の多様化に伴い市場分野を見直し、第44期第1四半期より下記の通り変更いたしました。

2014年度 第2四半期		
〔旧〕市場分野別	売上高	構成比
	百万円	%
百貨店・量販店	2,571	10.7
複合商業施設	1,926	8.0
食料品店・飲食店	3,646	15.1
衣料専門店	6,910	28.7
各種専門店	6,810	28.3
コンビニエンスストア	1,354	5.6
サービス等	429	1.8
余暇施設	429	1.8
計	24,078	100.0

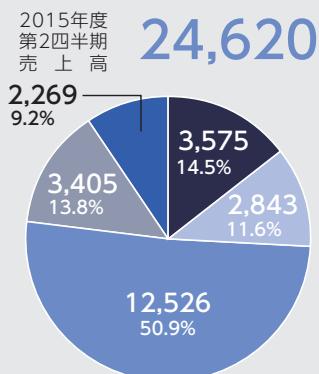


2014年度 第2四半期		
〔新〕市場分野別	売上高	構成比
	百万円	%
複合商業施設・総合スーパー	3,146	13.1
食品スーパー・コンビニエンスストア	2,406	10.0
各種専門店	13,966	58.0
飲食店	3,106	12.9
サービス等	1,452	6.0
—	—	—
—	—	—
—	—	—
計	24,078	100.0

## 市場分野別売上高

2015年度 第2四半期

- 複合商業施設・総合スーパー
- 食品スーパー・コンビニエンスストア
- 各種専門店
- 飲食店
- サービス等



※ %は構成比を表示しております。

(単位：百万円)

### POINT

#### ■ 複合商業施設・総合スーパー

**13.7%増**

複合商業施設分野では、新規出店および既存施設のリニューアル、総合スーパー分野では、既存店舗の改装に伴う受注により、売上高は前年同期と比べ4億29百万円増加となりました。

#### ■ 食品スーパー・コンビニエンスストア

**18.1%増**

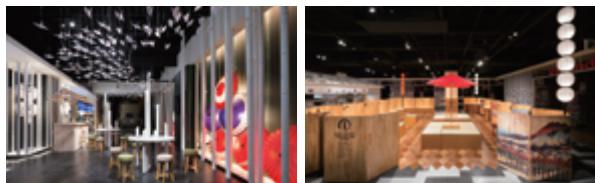
食品スーパー分野では、新規出店および既存店舗の改装、コンビニエンスストア分野では、建築工事および既存店舗の改装に伴う受注により、売上高は前年同期と比べ4億37百万円増加となりました。

#### ■ サービス等

**56.3%増**

サービス等分野では、金融関連の新規出店および娯楽・余暇施設関連の既存店舗の改装に伴う受注により、売上高は前年同期と比べ8億17百万円増加となりました。

H.I.S. + OSAKA TOURIST INFORMATION CENTER 心斎橋OPA



2015/4/4 OPEN

クライアント：株式会社エイチ・アイ・エス様

旅行会社としてのサービス提供のほか、買い物ニーズの高い旅行者に対し家電・薬局・土産等のテナントを招致し、ニーズを「全て完結する」ための訪日旅客専門フロアプロジェクトです。

日本家屋を連想させる櫓組みや格子のしつらえ、折鶴のモビール、浮世絵を転写した屏風など、デザイン化した「Nippon」を演出し、視覚伝達のデザインを目指しました。

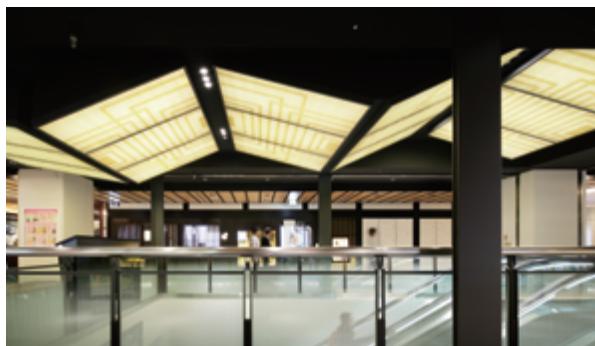
DSA日本空間デザイン賞2015 入選

(主催：一般社団法人日本空間デザイン協会)

第49回日本サインデザイン賞 入選

(主催：公益社団法人日本サインデザイン協会)

The CUBE 京都駅ビル専門店街 11F グルメ街



2015/3/30 OPEN

クライアント：株式会社京都駅観光デパート様

京都駅ビル11階飲食フロアのリニューアル物件です。

海外からの旅行者で賑わうこのフロアにとって、京都を感じる空間の仕立ては「観光都市のもてなし空間」と位置づけられます。共用部分は和の趣を強調し、上品で粋な京都のお座敷空間を表現しました。光をまとった和紙の屏風天井は、非日常的で華やかな京舞台をイメージしています。

DSA日本空間デザイン賞2015 入選

(主催：一般社団法人日本空間デザイン協会)

第49回日本サインデザイン賞 入選

(主催：公益社団法人日本サインデザイン協会)

## The Coffee Bean &amp; Tea Leaf 日本橋一丁目店



2015/5/26 OPEN

クライアント：L.A.Style 株式会社様

ロサンゼルス発、米国最古の「スペシャルティコーヒーチェーン」の日本初進出です。

本国で作りに上げてきた歴史やデザインを基に本国スタッフ、デザイナーとやり取りを進め、日本なりにローカライズすることでできた国内1号店になります。古材、塗壁、石などの自然素材、アースカラーの配色でアメリカ西海岸のテイストを演出し、コーポレートカラーのパープルの間接照明を取り入れることでブランドイメージを構築しました。

## ハローデイ 別府店



2015/5/27 OPEN

クライアント：株式会社ハローデイ様

九州を拠点に展開する株式会社ハローデイ様は、地域のお客様に買い物の楽しさと食の喜びを提供されています。基本コンセプトである「アミューズメントフードホール」、地域の人を未来へ繋ぐ架け橋となるコミュニティー施設を目指しました。プロジェクターでのグラフィック投影やピンテージ素材、壁面グラフィックで高揚感ある空間を表現しています。

## 十六銀行 ATM DCMカーマ岡崎店(A) / アビタ豊田元町店(B) / V・drug尾張旭店(C)



(A)

(B)

(C)

2015/2~3 OPEN

クライアント：株式会社十六銀行様

岐阜県の十六銀行様が、愛知県内での知名度アップを目的として、店舗外ATMを多店舗出店する計画に伴い、5社コンペにより当社デザインを採用頂きました。建物自体が広告塔として機能し、利便性を兼ね備えた新しいATMブースが完成しました。ユニット工法のノウハウを生かした商業建築の実績となる物件となりました。

第49回日本サインデザイン賞  
奨励賞・中部地区賞(A) / 入選(B)  
(主催：公益社団法人日本サインデザイン協会)

# 会社概況 (2015年6月30日現在)

## 会社概要

- 商号 株式会社 スペース (SPACE CO., LTD.)
- 本社 東京都中央区日本橋人形町三丁目9番4号
- 設立 昭和47年10月5日
- 資本金 33億9,553万7,101円
- 従業員 860名 ※役員14名、子会社9名除く
- 役員
 

代表取締役会長	加藤 千寿夫	常勤監査役	菊池 利夫
代表取締役社長	若林 弘之	常勤監査役	川村 修三
代表取締役専務	林 不二夫	監査役(社外)	前川 弘美
常務取締役	岡島 昇	監査役(社外)	田口 聡志
常務取締役	清水 康史	執行役員	塚谷 光次
常務取締役	佐々木靖浩	執行役員	鈴木 孝雄
取締役	大藪由紀夫	執行役員	森田 昭一
取締役	兼子 正則	執行役員	片岡 純二
取締役	林 顕	執行役員	武内 浩之
取締役(社外)	和田 良子		

### 当社ウェブサイトのご紹介

最新の実績紹介のほか、ニュースリリースやIR情報など、当社の事業活動についての情報を掲載しています。ぜひご覧ください。



スペース

<http://www.space-tokyo.co.jp/>

## 株主メモ

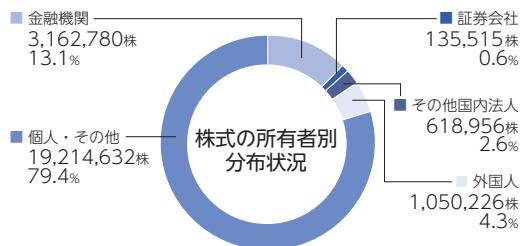
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日 その他必要があるときは、取締役会の決議により、あらかじめ公告した一定の日
単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞

## 株式の状況

- 発行可能株式総数 40,669,200株
- 発行済株式の総数 21,970,766株  
(自己株式数2,211,343株を除く)
- 株主数 4,537名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
スペース従業員持株会	2,734,243	12.4
加藤千寿夫	1,628,300	7.4
スペース取引先持株会	1,339,340	6.1
若林 弘之	1,022,200	4.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	620,040	2.8
高津 伸生	585,600	2.7
若林 幸子	581,200	2.6
後藤 廣高	516,000	2.3
高津久仁枝	507,303	2.3
GOLDMAN, SACHS&CO, REG	397,000	1.8

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。



株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。